

1 主題名 友だちとふれあう 2—(3) 友情

2 資料名 このてはだあれ(日本標準)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

握手、ハイタッチなど手を使ったスキンシップは、コミュニケーションの大切な手段であり、人間関係を豊かにするものである。

そこで、ここでは、じっくり友だちの手を握る場を設定し、相手の温もりを感じさせるとともに、友だちに親しみをもち、友だちを大切にして、仲良く学校生活を送ろうとする心情を養いたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童について

1年生は友だちと手をつなぐ機会がとても多い。しかし、そのとき友だちの手をじっくり味わったり、比べたりはしていない。この授業では、手も一人ひとり違うことに着目し、友だちの“手”をじっくり味わってから、目隠しして誰の“手”か当てるゲームを設定した。そして、よりいっそう友だちに親しみの気持ちをもたせたいと考えた。

そこで、遊びながら知らぬ間にふれ合う感覚のゲームを通して、「人と関わることの楽しさ」と「ルールを守る大切さ」に気づかせたい。

(3) 資料について

ふだんは特に意識することが少ない手に着目した資料である。あらかじめ覚えた友だちの手を、目隠ししてじっくりさわり、温かい、冷たい、ごつごつしている、つるつるしている、大きい、小さいなど、その特徴によって当てようとするエクササイズである。友だちの手の温もりや一人ひとりの手が違うことよさに気づかせたい。

(4) 指導について

友だちの手をじっと握り、その温もりに触れる体験をすることにより、友だちへの親近感をもたせたい。誰の手か当たったからよい、はずれたからだめというのではなく、握手をした時の手の温もりや、感触で気づいたこと、一人ひとりの違いを感じることができればよい。また、「友だちの身体も温かく大切なもの」と実感することによって、友だちの身体への暴力を防ぐ力にもしたい。目隠しをして友だちの手に触ることに抵抗のある児童には、無理強いはいしない。

終末の教師の話では、絵本「てとてとてとて」の最後のページ“もしかしたら手は心がでたりはいったりするところなのかもしれない”という言葉じっくりと読み聞かせたい。

4 本時のねらい

友だちに親しみをもち、友だちと仲良く学校生活を送ろうとする心情を育てる。

5 準備物

アイマスク(グループに一つ)、アイマスクにつけるペーパータオル(人数分)、手の形の絵、ゲームの進め方を書いた紙、ふりかえりシート  
絵本「てとてとてとて」浜田桂子作(福音館書店)

6 本時の展開

主な発問と予想される児童の反応	支援（・）と評価（☆）
<p>1 手をつないだ経験について話し合う。</p> <p>○あなたはこのごろ、だれかと手をつなぎましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おじいちゃんと手をつないでさんぽしたよ。</li> <li>・おかあさんと手をつないでおかいものにいったよ。</li> <li>・ともだちとてをつないでとしょしつへいったよ。</li> </ul> <p>○そのときのおじいちゃんやお母さん、友だちの手はどんな手でしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい手、小さい手</li> <li>・あたたかい手、つめたい手</li> <li>・ごつごつした手、やわらかい手</li> </ul> <p>2 クラスのみんなと握手をして話し合う。</p> <p>○友だちの手はどんな感じでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・～ちゃんの手はあつたかくてきもちがよかった。</li> <li>・～ちゃんの手は小さくてかわいかった。</li> <li>・～ちゃんの手は大きくてやわらかかった。</li> </ul> <p>3 「このてはだあれ」ゲームをする。</p> <p>○ゲームのやり方をしっかり覚えて、やってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームのめあてとルールを知る。</li> <li>・モデリングを見て、やり方を順に確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①生活グループになって、グループの子と握手をし誰がどんな手かを覚える。</p> <p>②当てる人は椅子に座り、当てられる人は椅子の前に並ぶ。</p> <p>③当たったら拍手、はずれたら「ざんねん。」と言う。</p> <p>④当てる人を替えて行う。</p> </div> <p>4 感じたことや気づいたことを、ふりかえりシートに書いて発表する。</p> <p>○「このてはだあれ」ゲームをして、どんなことを感じましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あたたかい手やつめたい手などいろいろな手があったよ。</li> <li>・ともだちの手をじつとにぎっていたら、もっとなかよしになれたきがしたよ。</li> <li>・みんなの手をあてられてうれしかったよ。</li> <li>・わたしの手は小さくて、○○さんの手とにているとおもったよ。</li> </ul> <p>5 教師の話を聞く。</p> <p>○先生の話をお聞きしましょう。</p> <p>絵本「てとてとてとて」の読み聞かせを聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手をつないだ経験を思い出させ、自由に発表させたい。</li> <li>・その人と手をつないだとき、にぎったとき、どんな感じだったか、見た目や感触だけでなく、どんな気持ちになったかも思い起こさせたい。</li> <li>・握手のマナー（いきなり握手するのではなく、挨拶してから優しく握手する）を確認する。</li> <li>・自分から握手をしに行けない児童や握手自体を楽しく思わない児童に対しては、無理強いせず、一緒に握手するなどの配慮をする。</li> <li>・ルールを理解することが苦手な児童のために、文だけでなく絵も提示して、丁寧に説明したい。また、実際に書いてある通りに教師と3人の児童でモデリングして、不安感や勘違いを取り除く。</li> <li>・アイマスクが怖い児童には、目を閉じるだけでもよいことを知らせる。</li> <li>・当てられる人の順番は相談して決める。</li> <li>・外れたときの「ざんねん。」は、なるべく小さい声で言う。</li> <li>・ふりかえりシートを発表させることにより、学習したことをみんなで共有したい。</li> </ul> <p>☆一人ひとり違う手をもつクラスの友だちに親しみを持ち、仲良くしていこうという心情をもつことができたか。（ふりかえりシート、発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を読み聞かせて、友だちを大切にし、楽しく学校生活を送ろうという前向きな気持ちで授業を終えたい。</li> </ul>

7 授業の観点

「このてはだあれ」ゲームは、3組の子どもたちが友だちに親しみをもつための手だてとして、適切だったか。